

令和5年度スクールモニター始動！横浜開港祭にご招待



神奈川地方協力本部（本部長 平井 克英 一等海佐）は、自衛隊への理解を深めていただき、若者の視点から自衛隊やその広報活動へのご意見をうかがい、今後の諸施策に反映させていくことを目的として、学生さんを対象にスクールモニターを募集しており、令和5年度は13名で活動をスタートした。活動の第一弾として、神奈川地本が参加した6月2日（金）・3日（土）の第42回横浜開港祭の2日目に、スクールモニターを招待した。台風の影響で両日ともに雨の中のイベントとなったが、参加の7名が来場された時には雨が上がり、予定していた内容は全て実施することができた。

装備品展示では、「どのようにして化学物質を検知するのですか？」といった一歩踏み込んだ質問が出たことよって、担当者からより詳しい説明を聞くことに繋がった。

一般公開が行われた護衛艦「あぶくま」及び潜水艦「とつりゅう」の乗組員にも疑問点を積極的に伺ったり、撮影をしたり、双眼鏡を覗いたり、興味のある機器を注意深く見るなど、それぞれが貴重な時間を過ごしていた。また、護衛艦「あぶくま」艦内の士官室にてスクールモニター委嘱式を行った。陪席した第12護衛隊司令からの「一般大学出身者でも幹部になることができる。ぜひ海上自衛隊に入って挑戦してくれることを待っている」という言葉に7名は聞き入っていた様子であった。モニターの一人は「護衛艦の艦橋や士官室など一般公開では入れないようなところまで見学でき、貴重な体験でした。地本の本部長さんや艦長さんのお話もとても興味深く面白かった」と話し、また別の方は音楽隊の演奏を特別席で鑑賞したことについて「間近で聞くことができ感動した。迫力と繊細さがあり勇気づけられた」と話した。

コロナ禍で昨年度までは思うように活動ができなかったが、今年度はスクールモニターの方たちにより自衛隊の魅力を知っていただけるような企画をしていきたいと考えている。令和5年度に活動して下さる方を随時募集している。ご興味のある方は神奈川地方協力本部またはお近くの募集案内所までお気軽にお問い合わせください。

開成町あじさい祭りにて広報活動

自衛隊神奈川地方協力本部は6月11日（日）、『あじさい公園』広場（神奈川県足柄上郡開成町）において、自衛隊広報ブースを設置し、広報活動を行いました。当日はあいにくの雨で天候の悪い日ではありましたが、約5000株のあじさいが咲き誇る中、行われたあじさい祭りでは、陸上自衛隊富士学校音楽隊による演奏及び陸上自衛隊高等工科学校による和太鼓部演奏を行いました。

広報ブースにおいては、小学生には缶バッジやシールを配布するとともに、自衛隊の活動写真の展示や迷彩服の試着、自衛隊入隊の説明などを行い、小中学生の保護者から「自衛隊採用案内を理解できました」といった感想もありませんでした。

陸上自衛隊富士学校音楽隊による年齢層の幅広い楽曲の演奏や、陸上自衛隊高等工科学校による若さ溢れる力強い和太鼓演奏に観客が手拍子をして、演奏を一緒に楽しんでいました。

自衛隊神奈川地方協力本部は、今後も地域に密着したイベントに積極的に参加し、自衛隊の活動の理解を広げ、少しでも身近に感じていただけるよう、今後も精力的に活動してまいります。

